

整形外科臨床研修プログラム（2年次選択）

I. 一般目標

整形外科疾患の基本的知識と技術を修得する。即ち、脊椎、脊髄、四肢の骨、関節、神経、血管、筋、腱、靭帯などの外傷、急性疾患、慢性疾患に対して的確に診断初期治療が行える医師を育成することを目的とする。

II. 研修施設と研修指導責任者・指導医

1) 研修施設 医療法人社団誠馨会 新東京病院

2) 研修指導責任者・指導医 土持 綱正（ツチモチ ツナマサ）

整形外科研修 週間予定表

	時間	月	火	水	木	金	土
午前	8:30～ 12:00	病棟処置	病棟処置	外来	装具外来	手術	病棟処置
午後	13:00～ 17:00	外来	外来・加ワルヲ	外来	外来	手術	

※緊急な手術・処置・検査等で変更が生じる場合もある。

III. 行動目標および評価項目

評価記載 A：到達目標に達した
B：目標に近い
C：目標に遠い

1) 基礎知識

・骨、軟骨、関節の生理、解剖を理解し説明ができる。

自己評価

指導医評価

A B C

A B C

・神経、筋、腱、血管、靭帯の生理、解剖を理解し説明ができる。

A B C

A B C

指導医サイン

2) 検査・診断

- ・ 整形外科の基本的診察ができる。
- ・ 骨、関節の X-P、CT、MRI に指示、診断が的確にできる。
- ・ 脱臼、骨折の臨床的診断ができる。
- ・ 特殊な骨折の合併症を理解し説明ができる。
- ・ 麻痺の患者の神経学的診断ができる。
- ・ 救急患者の的確な病態把握ができる。
- ・ 痛みの原因分析ができる。

A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C

指導医サイン _____

3) 臨床知識と技術

- ・ 適切な薬剤、点滴などの処方ができる。
- ・ 手術前、後の患者管理の指示が適切に出せる。
- ・ 理学療法 of 指示が適切に出せる。
- ・ 骨折、脱臼に対して適切な外固定ができる。
- ・ 脱臼の徒手整復ができる。
- ・ 牽引の手技、管理ができる。
- ・ 簡単な伝達麻酔ができる。
- ・ 脊髄損傷患者の診断と応急処置ができる。
- ・ 開放骨折の初期治療の指示が出せる。
- ・ 手の外傷の診断と治療方針が決められる。
- ・ 間接穿刺の適応を決め実施できる。
- ・ 簡単なブロック注射ができる。
- ・ 手術に対して助手が務められる。

A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C

指導医サイン _____

4) その他

- ・ 患者、家族に対して的確に病状の説明ができる。
- ・ 他科の疾患に対して的確にコンサルトできる。

A	B	C	A	B	C
A	B	C	A	B	C

指導医サイン _____